

東京電機大学
令和5年度 卒業生(既卒者)アンケート結果

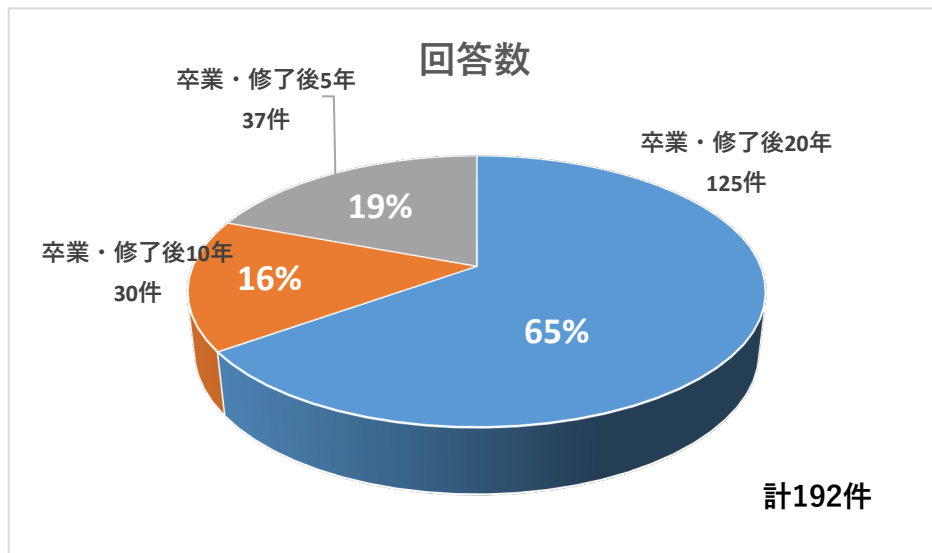
令和5年6月
総務部企画広報担当

■アンケート実施概要

- (1) 調査目的 「大学時代の経験で卒業後役立ったと感じること」、「卒業生の本学に対する満足度・現在の評価」並びに「卒業後のキャリアの状況等」について調査し、今後の教育活動等の改善につなげることを目的とする。
- (2) 対 象 卒業・修了後、5年・10年・20年を経過した者（合計4,809名）
① 平成29年度卒業生・修了生（平成30年3月卒業・修了）
② 平成24年度卒業生・修了生（平成25年3月卒業・修了）
③ 平成14年度卒業生・修了生（平成15年3月卒業・修了）
- (3) 実施方法 webで実施
※アンケートの依頼は、郵送（校友会会員については、4月号の工学情報に同封）。（住所登録者のみ）
- (4) 実施期間 令和5年4月24日～令和5年5月28日
- (5) 回答者数 192名（回答率4%）
（①卒業・修了後5年：37名 ②卒業・修了後10年：30名 ③卒業・修了後20年：125名）

以 上

令和5年度 卒業生（既卒者）アンケート回答数



卒業・修了後20年（平成15年3月卒業・修了）

学部等	回答数	対象数	回収率
工学部、工学部第一部	52	518	10.0%
工学部第二部	15	181	8.3%
理工学部	30	322	9.3%
工学研究科 修士課程	15	114	13.2%
工学研究科 博士課程	0	6	0.0%
理工学研究科 修士課程	13	82	15.9%
理工学研究科 博士課程	0	2	0.0%
計	125	1,225	10.2%

卒業・修了後10年（平成25年3月卒業・修了）

学部等	回答数	対象数	回収率
工学部、工学部第一部	3	394	0.8%
工学部第二部	2	83	2.4%
理工学部	6	484	1.2%
情報環境学部	6	165	3.6%
未来科学部	2	191	1.0%
工学研究科 修士課程	7	139	5.0%
未来科学研究科 修士課程	1	132	0.8%
理工学研究科 修士課程	3	122	2.5%
情報環境学研究科 修士課程	0	33	0.0%
先端科学技術研究科 博士課程	0	11	0.0%
計	30	1,754	1.7%

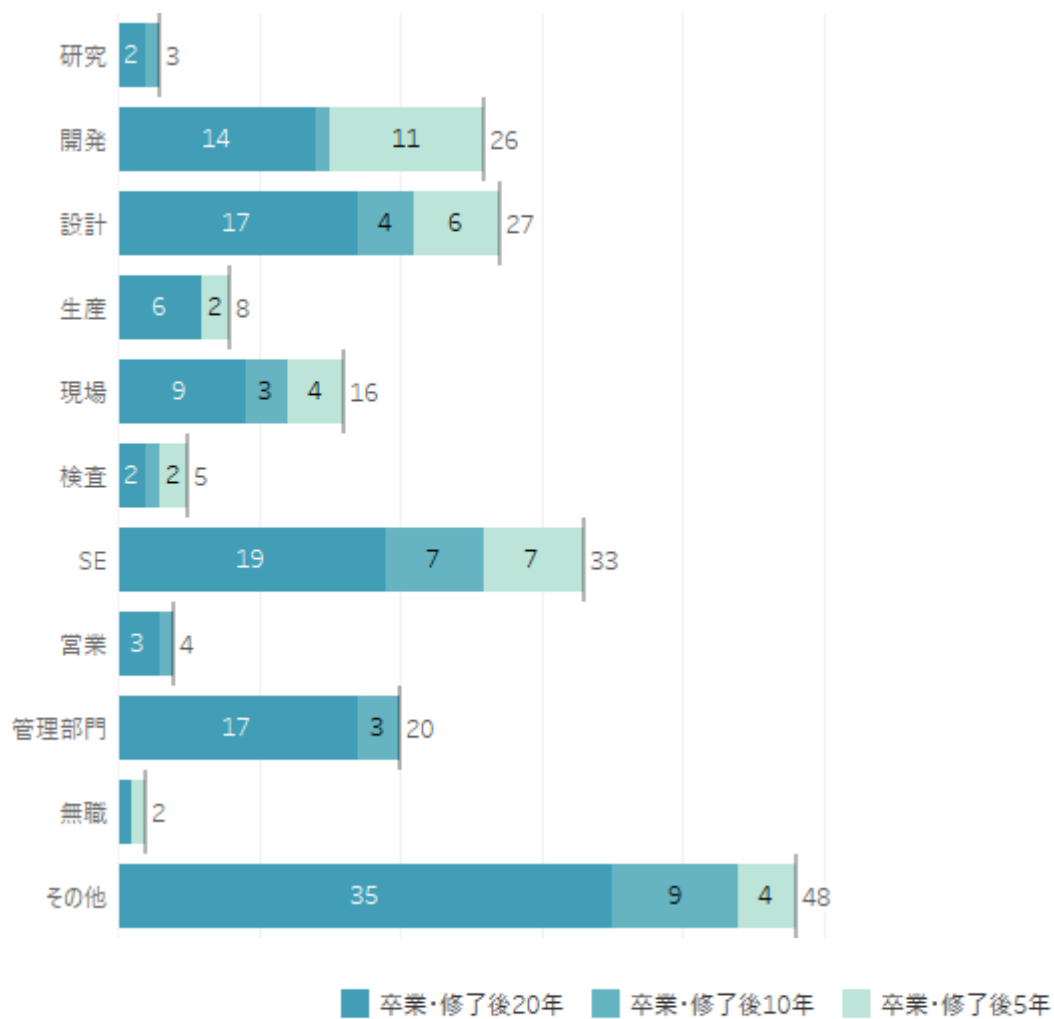
卒業・修了後5年（平成30年3月卒業・修了）

大学（学部）	回答数	対象数	回収率
工学部、工学部第一部	7	474	1.5%
工学部第二部	5	88	5.7%
理工学部	5	464	1.1%
情報環境学部	5	197	2.5%
未来科学部	2	202	1.0%
工学研究科 修士課程	10	148	6.8%
未来科学研究科 修士課程	0	122	0.0%
理工学研究科 修士課程	2	105	1.9%
情報環境学研究科 修士課程	1	23	4.3%
先端科学技術研究科 博士課程	0	7	0.0%
計	37	1,830	2.0%

合計	192	4,809	4.0%
-----------	------------	--------------	-------------

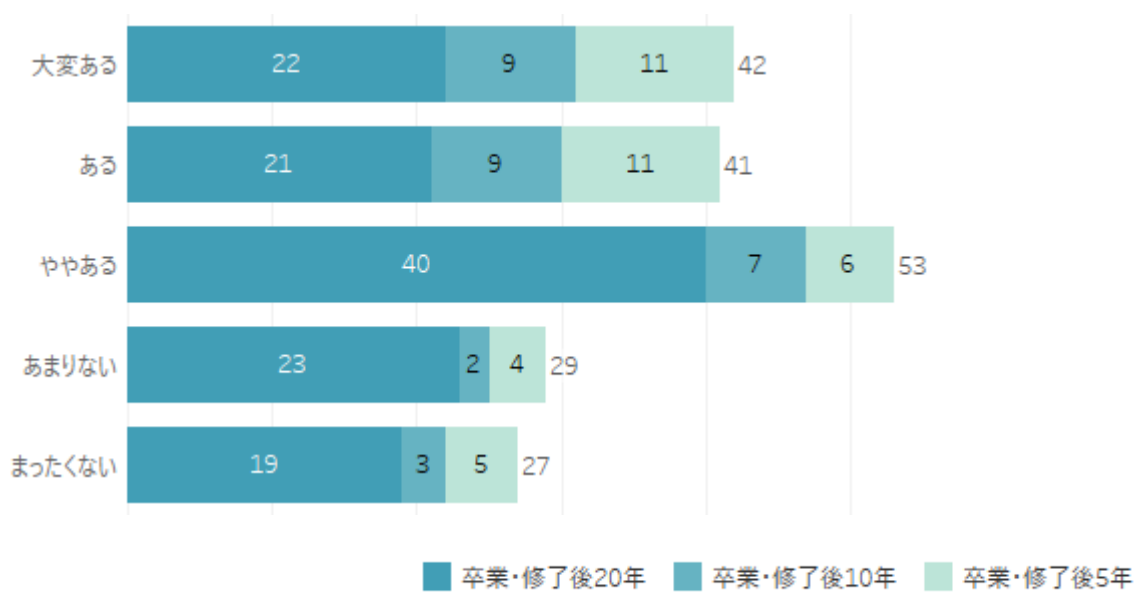
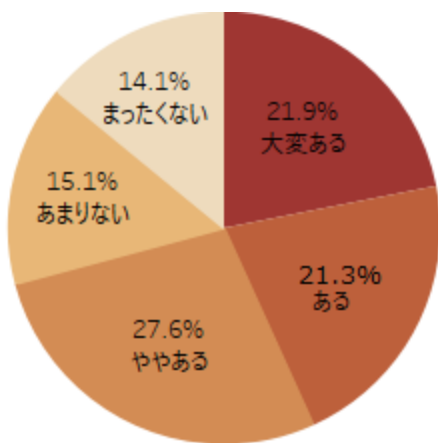
【卒業生（既卒者）アンケート集計】

問1 あなたの現在の仕事内容を教えてください



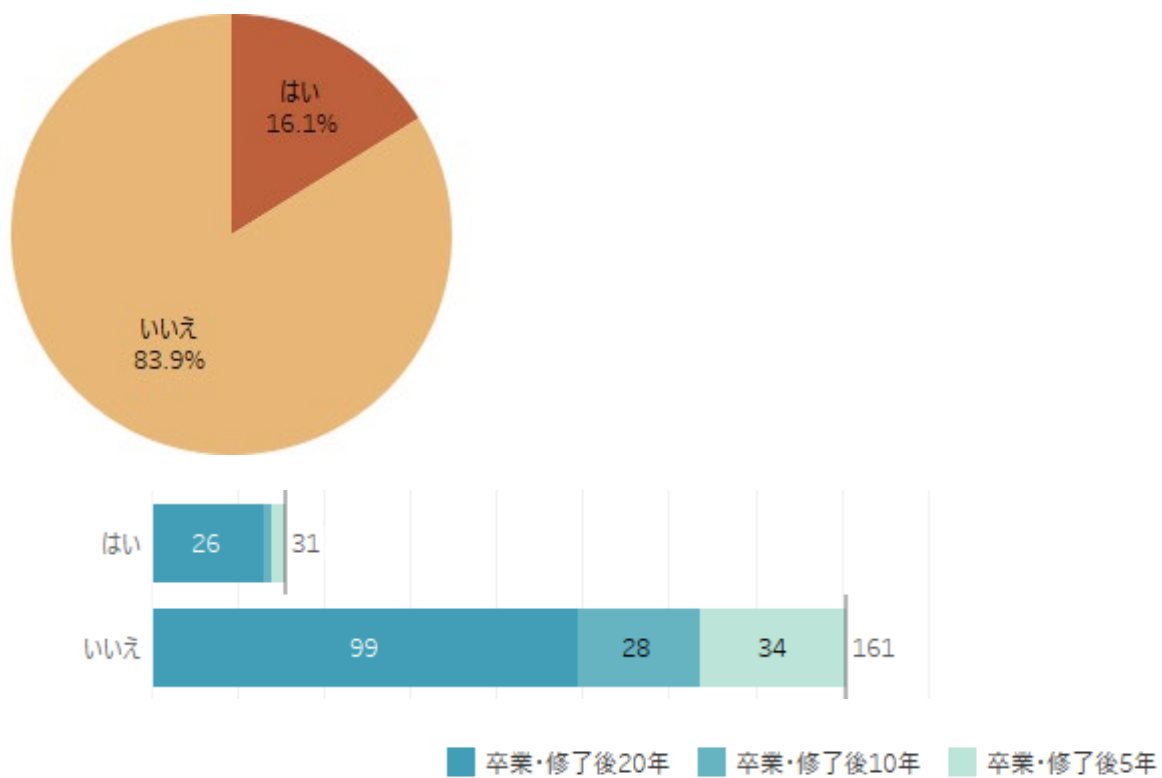
現在の仕事内容は、SE、設計、開発が多い

問2 現在の仕事内容と大学で学んだ専門教育の関連度合いを教えてください。



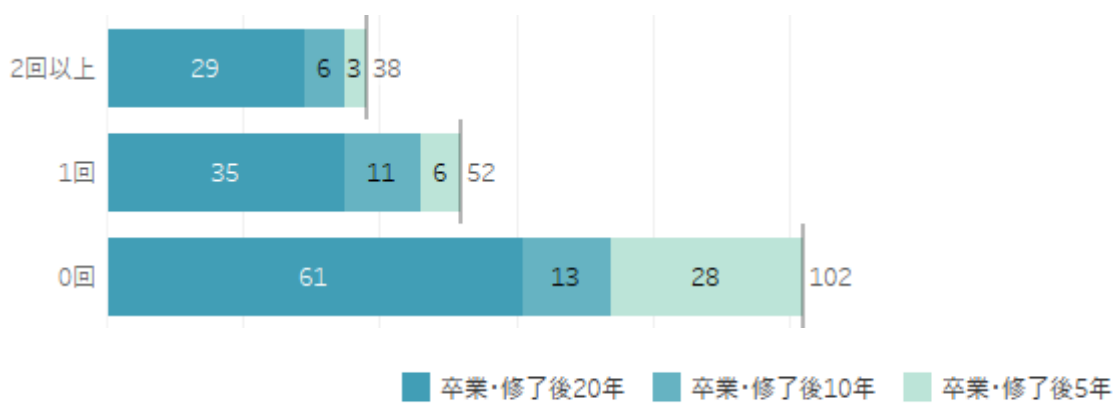
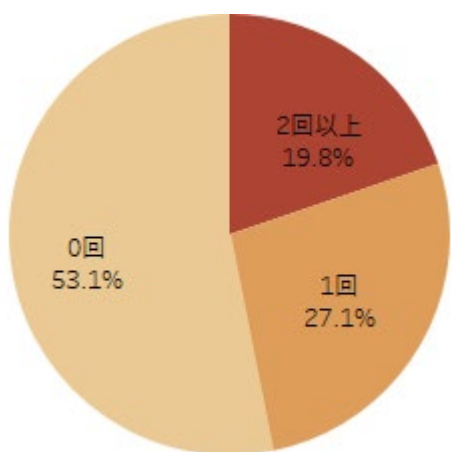
現在の仕事内容と大学で学んだ専門教育との関連は、「ある」が71%（大変ある・ある・ややある）

問3 海外で仕事をした経験はありますか。



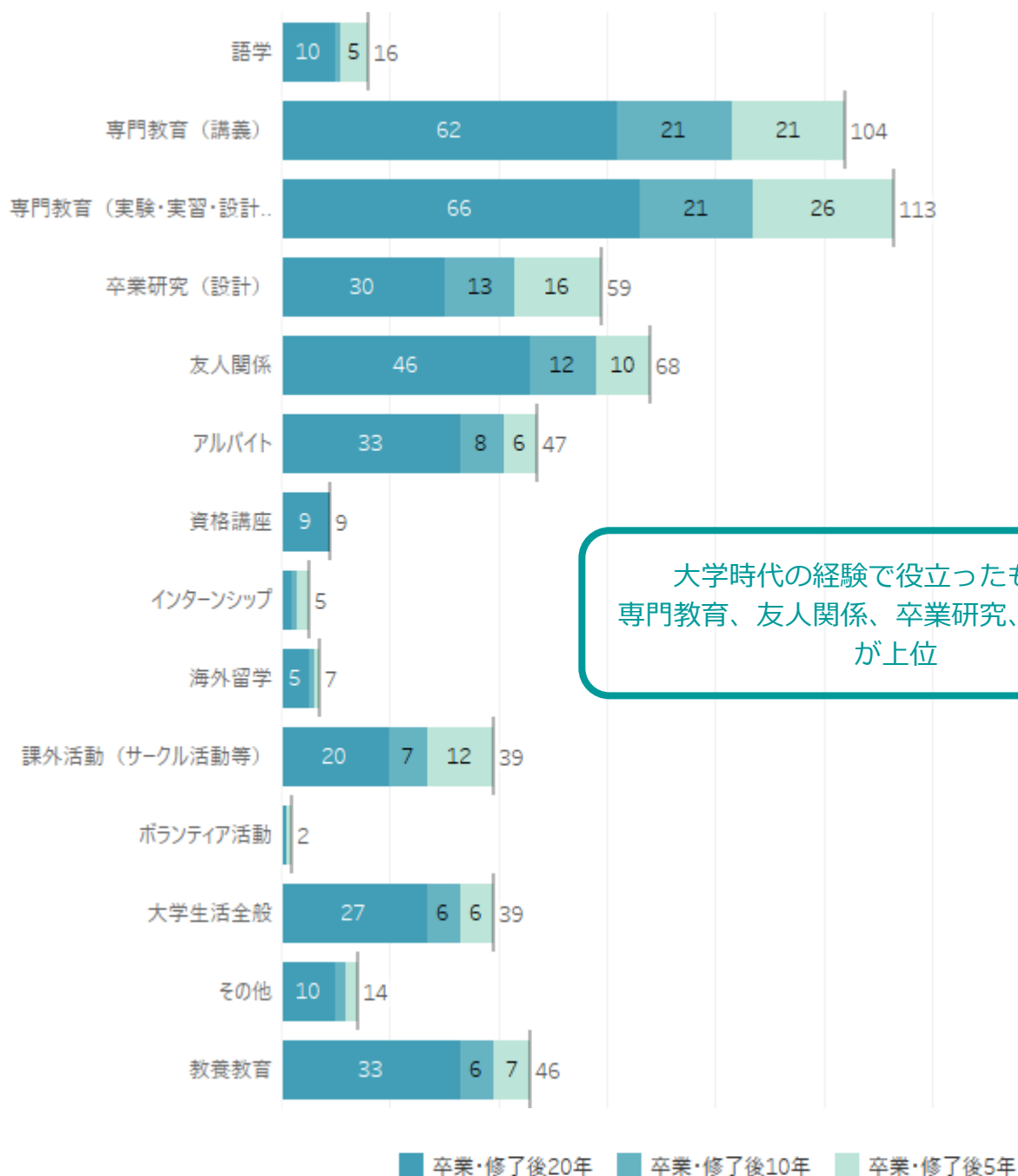
海外での仕事経験があるのは16%

問4 今までに何回転職をしたことがありますか。



約半数が転職の経験あり

問5 大学時代の経験で卒業後役立つと感じることは何ですか。(複数回答可)

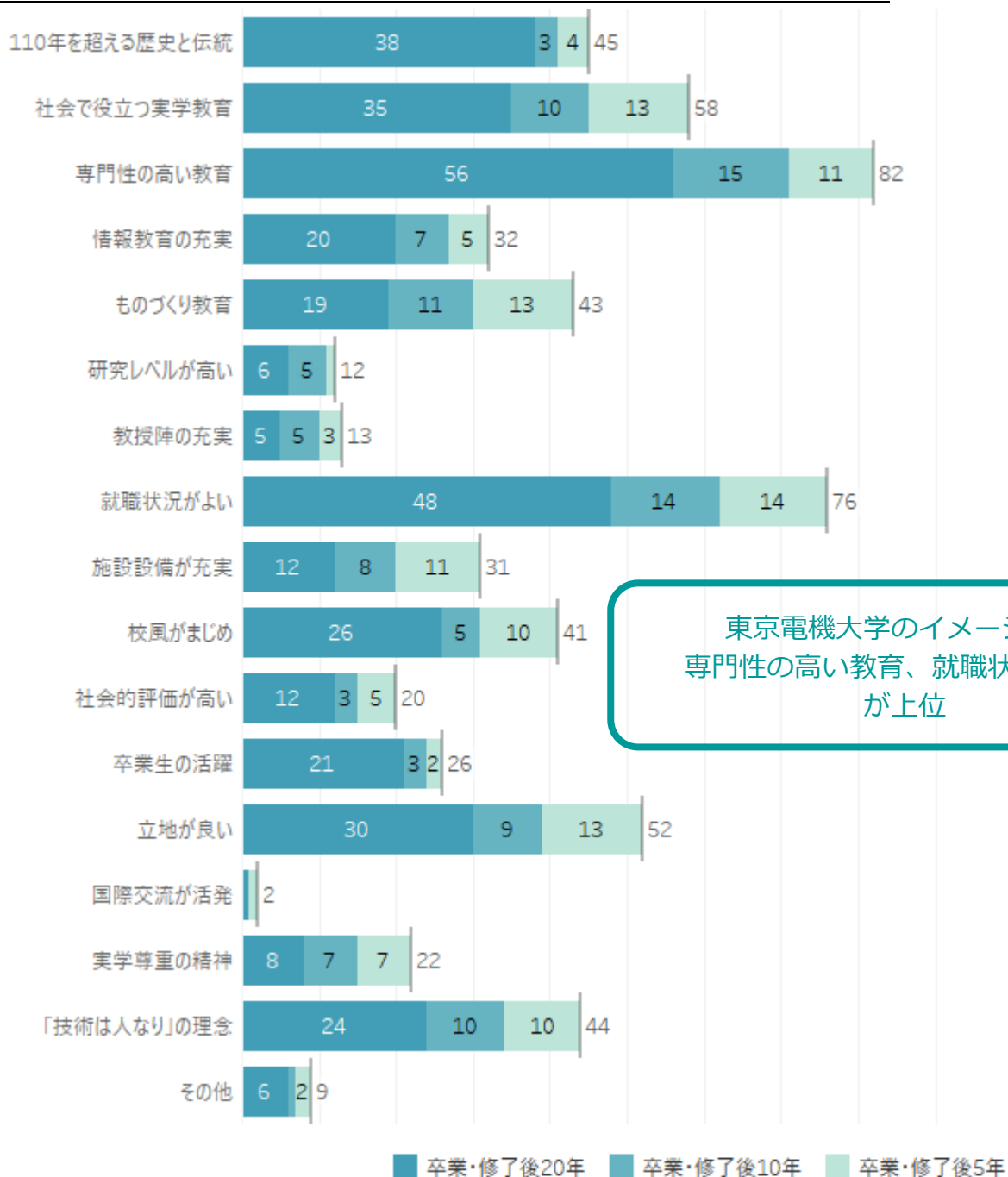


大学時代の経験で役立つものは、
専門教育、友人関係、卒業研究、教養教育、
が上位

「その他」の回答

ゲーム/学生職員としての経験/学部4年から修士課程修了までの3年間、外研で行った研究活動/技術者としてのマインド/研究室での活動/国家資格取得/神田でしたが立地の影響(秋葉原に近い)は大きいと思います。/数字慣れした点。生活の各場面で暗算が早くできたり、世の中のデジタル社会の仕組みが何となく想像ついたり/電子技術研究部に所属していたこと/粘り強さ

問6 現在の東京電機大学のイメージにあてはまるものは何ですか。(複数回答可)

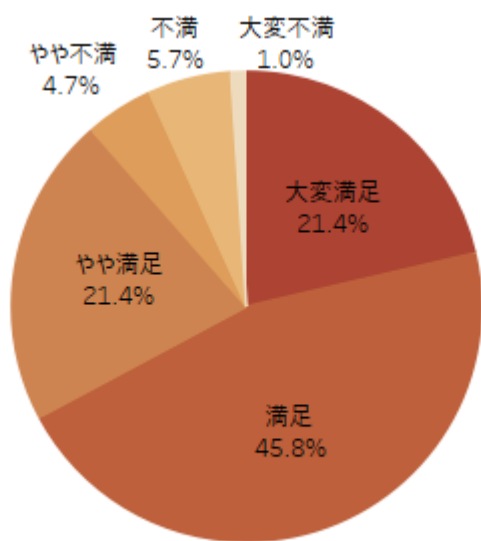


東京電機大学のイメージは、
専門性の高い教育、就職状況がよい
が上位

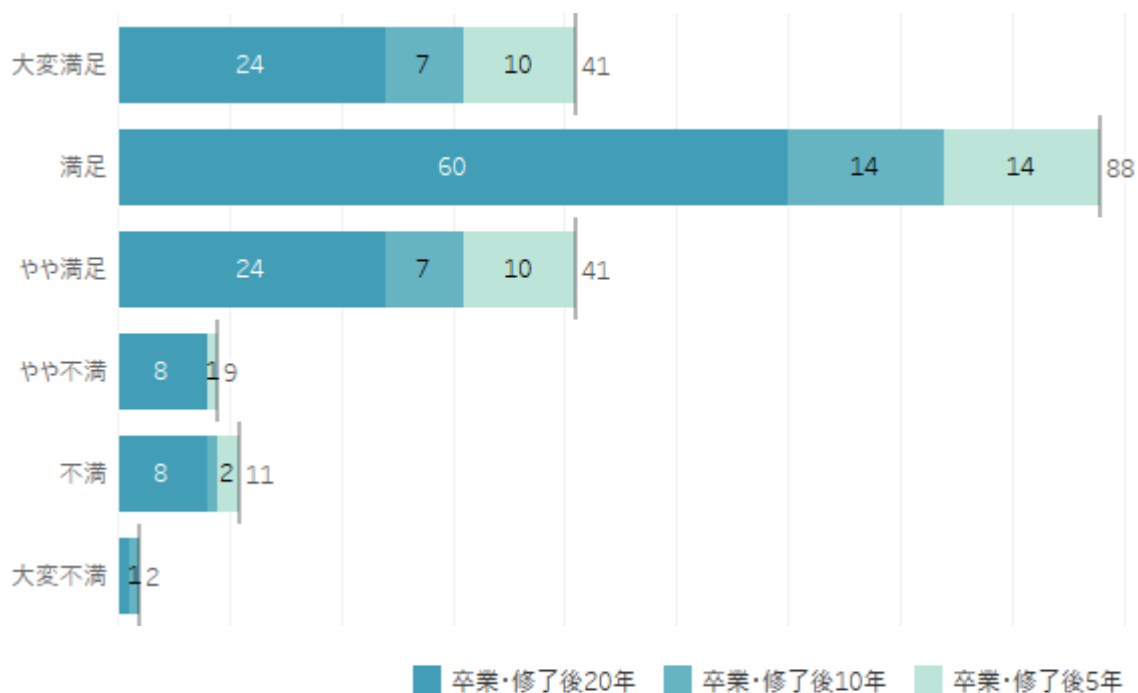
「その他」の回答

アトム/いい意味でオタクのイメージ/しっかりした印象/現在をしらない/大学の設備レベルが高く、学ぶ意思が高い人には非常に良い環境だと思う/特にイメージがない/法人として成功しているイメージがあります

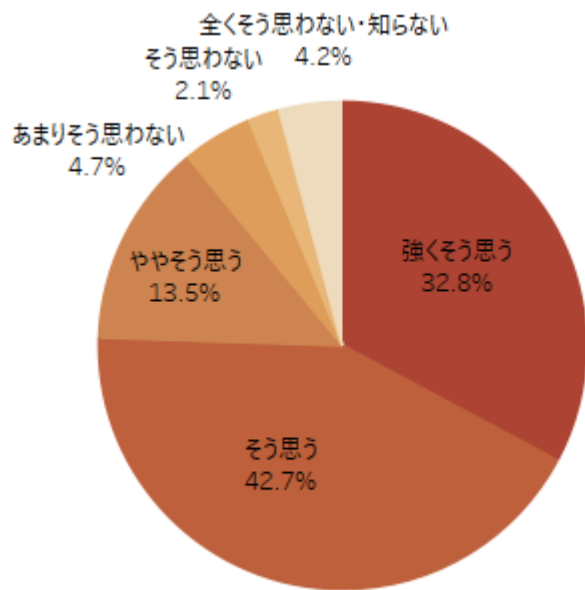
問7 ご自身の大学生生活を振り返ってみて、本学に対する総合的な満足度はどの程度ですか。



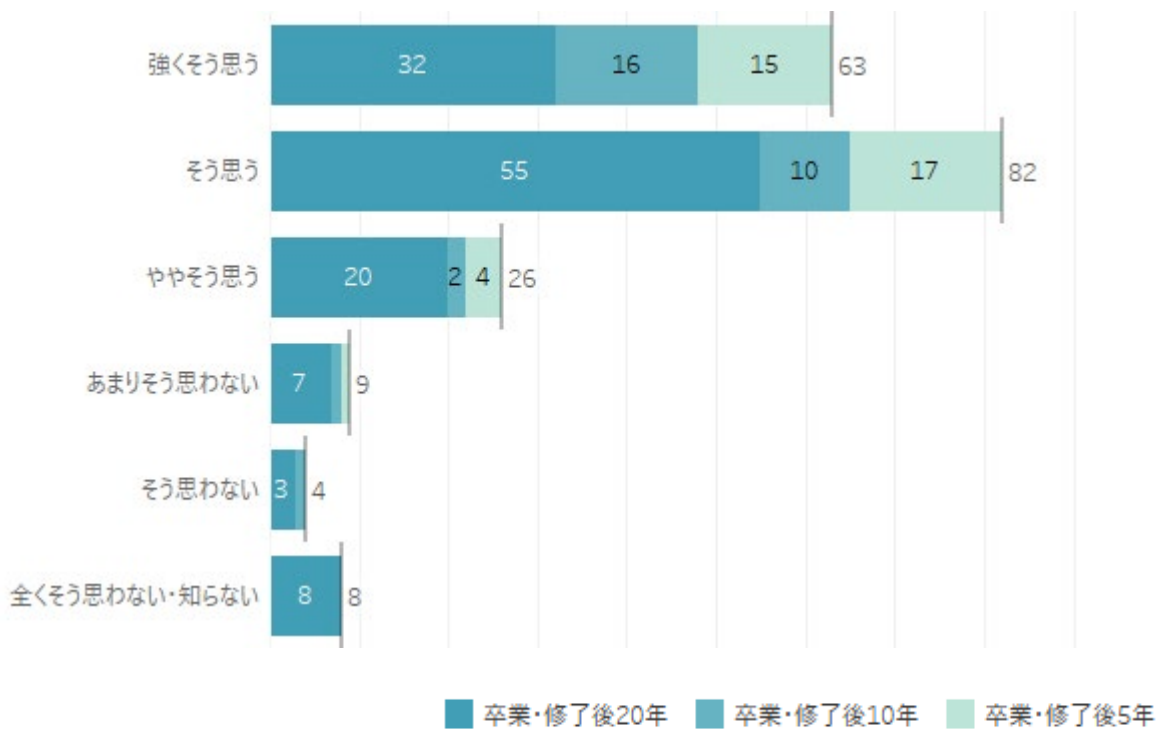
89%が本学に対して「満足」と感じている（大変満足・満足・やや満足）



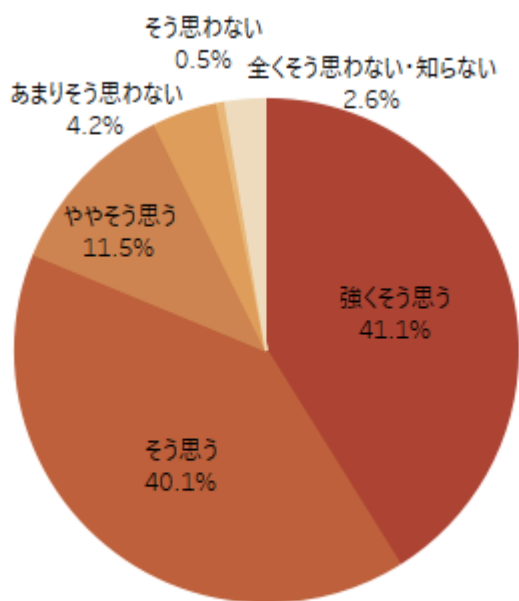
問8 「実学尊重」の精神は、今も重要だと思いますか



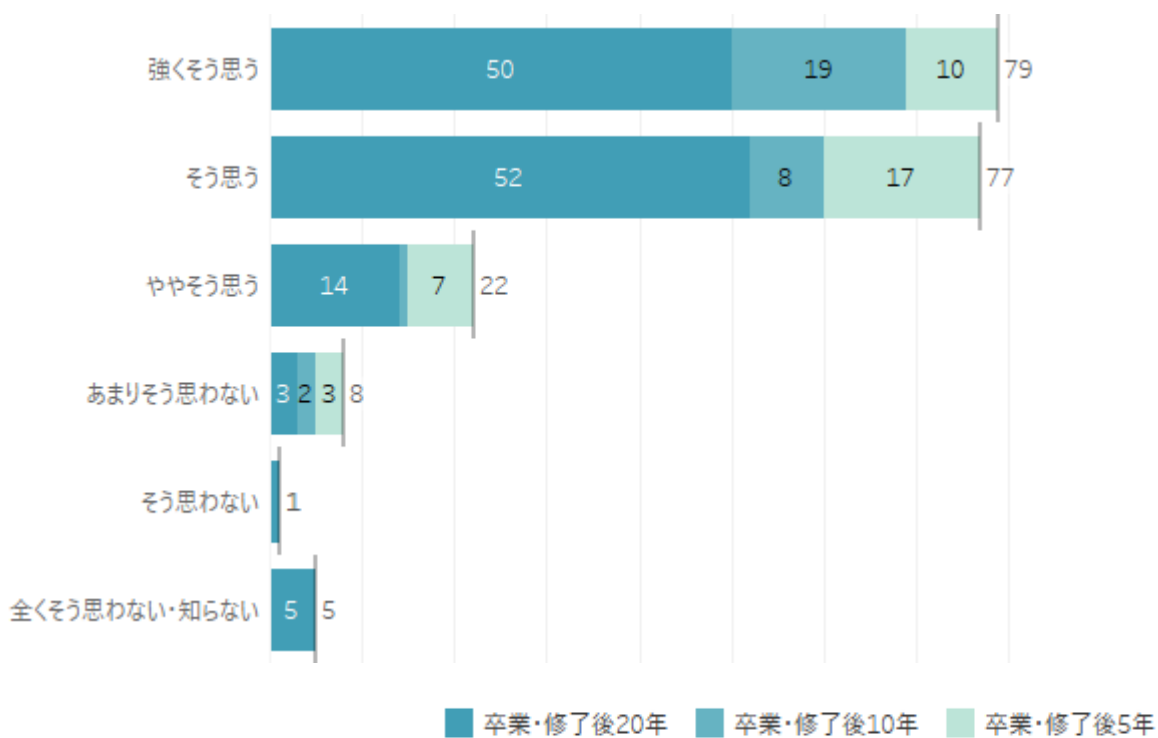
89%が「実学尊重」の精神を「重要」と感じている
(強くそう思う・そう思う・ややそう思う)



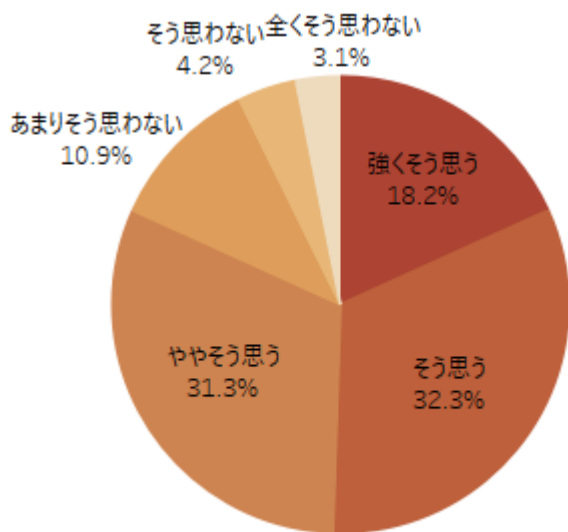
問9 「技術は人なり」の理念は、今も重要だと思いますか。



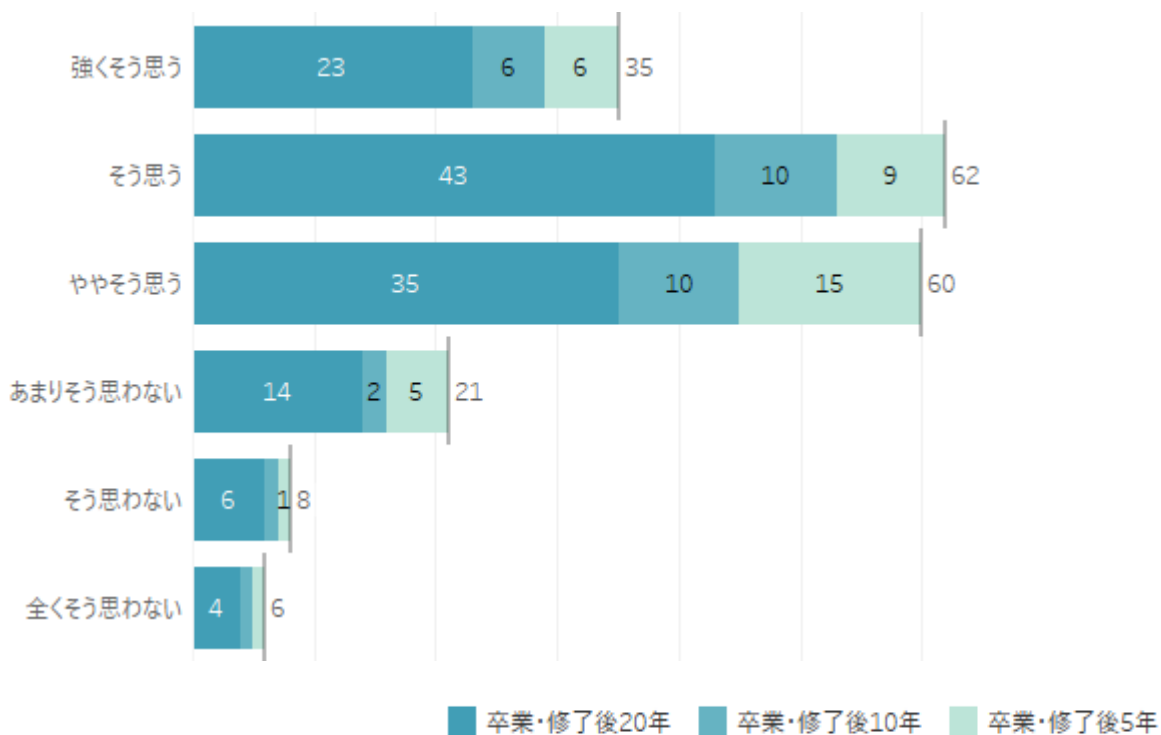
93%が「技術は人なり」の理念を「重要」と感じている
(強くそう思う・そう思う・ややそう思う)



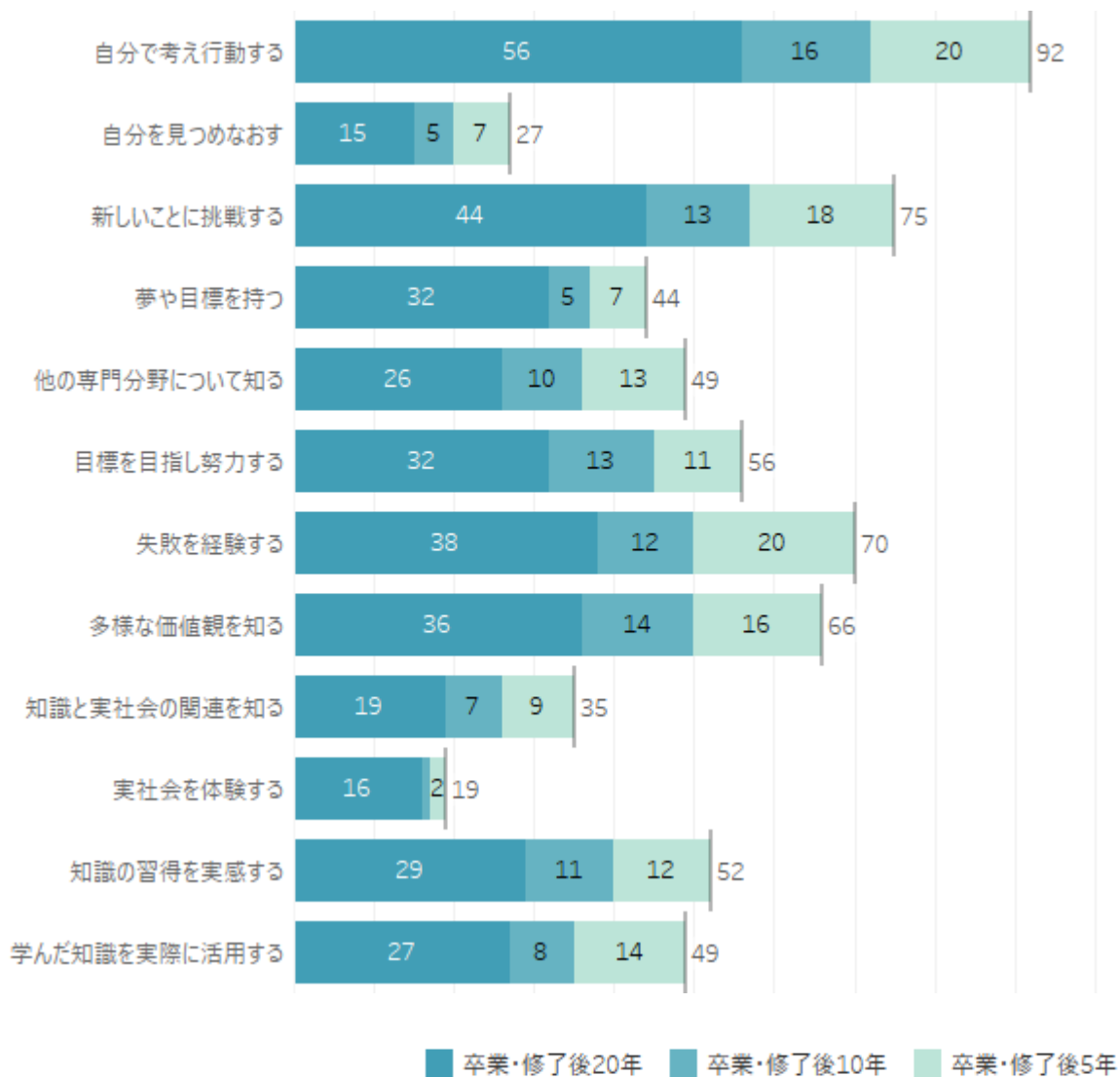
問 10 本学に誇りを持っていますか



82%が本学に誇りを持っている
(強く思う・そう思う・ややそう思う)

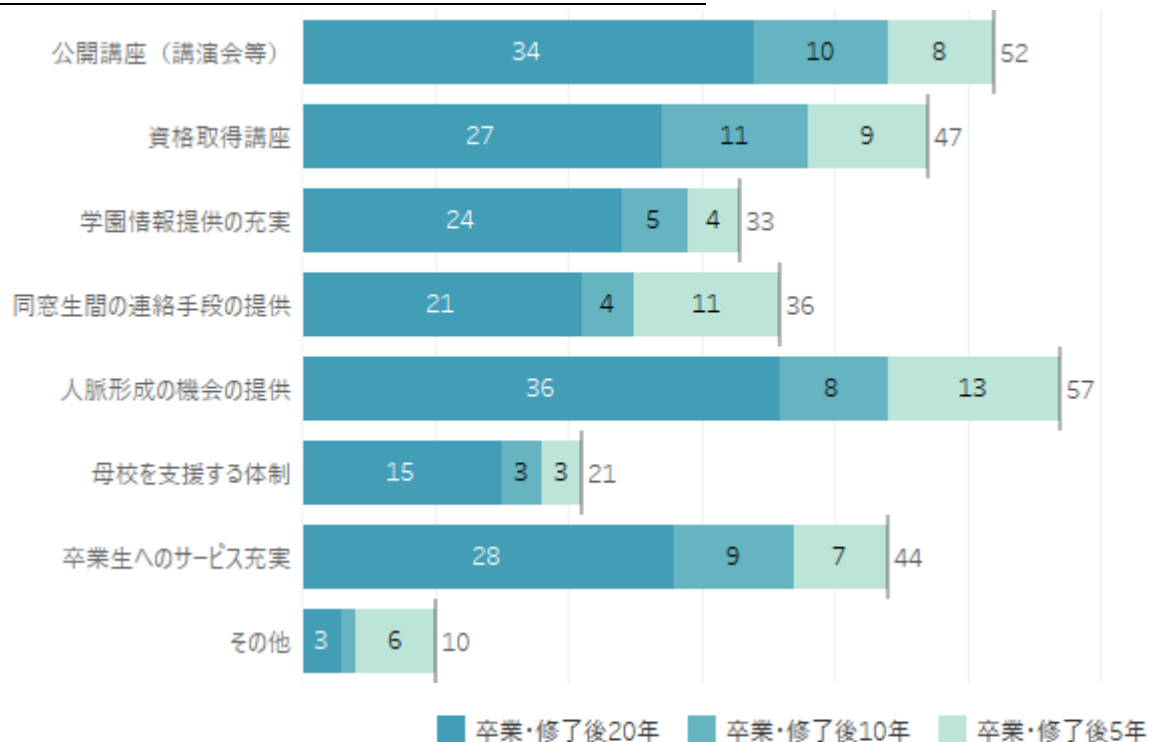


問 11 学生時代に経験したことで、印象に残っていることは何ですか。(複数回答可)



自分で考え行動する 新しいことに挑戦する
 失敗を経験する 多様な価値観を知る が上位

問 15 校友会に期待するものをいくつかもお選びください



「その他」の回答

PCが壊れた時のアドバイスなど、頂けるとありがたいです／リスク教育／卒業生対象のイベントや活躍している卒業生の記事の提供など／転職経験のある卒業生から話を集め、在学生にも周知してはどうでしょうか。在学生が卒業して就職して、こんなはずではなかった・・・となること防げるのではないかと思います。担当教授の紹介で就職した企業から転職した卒業生が大学に関わるのをためらう話をよく聞きます。転職する卒業生が増えると、校友会離れが加速する可能性があるのではないのでしょうか。

人脈形成の機会の提供 公開講座（講演会等）
資格取得講座 卒業生へのサービス充実 が上位

(自由記述の設問)

問12 学生時代に特に大切だったと思うものは何ですか。

卒後20年の回答の抜粋

友人との出会い、研究に対する取り組み姿勢

研究室での活動 第一線で活躍する建築家からの設計課題学習

卒業研究および修士の時の研究で、自分で考えて実験、研究し行動するという姿勢。同期と比べても積極的に行動したこともあって、研究の成果も出すことができ、評価もして頂けたと思う。

友人、課題に対する対処の仕方、新規テクノロジーに対する積極性

社会人入学のため、他会社から入学した友人関係の構築及び実学に通じる知識の習得が直ぐに出来たこと。

自分の道を決めるための様々な経験、時間の管理

工学の基礎の知識を実験や講義で身につけられたこと

網羅的な知識体系(純粋数学だが)をゆっくり学べる環境。

卒後10年の回答の抜粋

講義を通して、他の研究室の学生たちとふれあい、お互いの研究テーマに助言をしあえる環境が良かったです。学生同士で違った視点からのアドバイスがいただけて、心強かったです。

ありったけの時間を勉学に注ぎ込むこと、専門外の研究にも積極的に首を突っ込んで関わっていくこと

プログラミング言語を習得する際に社会に出る前から「よくわからん！」であったり、「こうすべき」を経験したり学べたおかげで、社会人1年目からOJTの先輩や出先機関の方達にすぐ気に入られるという経験をしました。それは今でも生きています。

とにかく自分で手を動かす事。実力を知識を同時に身につける事。そして失敗を経験し、そこからどう改善するかの試行錯誤のマインドを得る事。

自分野のみではなく幅広い知識をつけておくこと。電気電子工学科であったが、研究では画像処理の知識も必要であったし、今では車の仕事なのでエンジンの知識も必要である。専門分野は持っておくとして、それ以外のことも知っていた方がいい。

同学科の友人たちと課題に取り組んだ経験。教え、教えあうことはどちらの立場でも得られるものがあります。(コロナ禍で今の学生たちにはなかなかできなかったかもしれませんが)

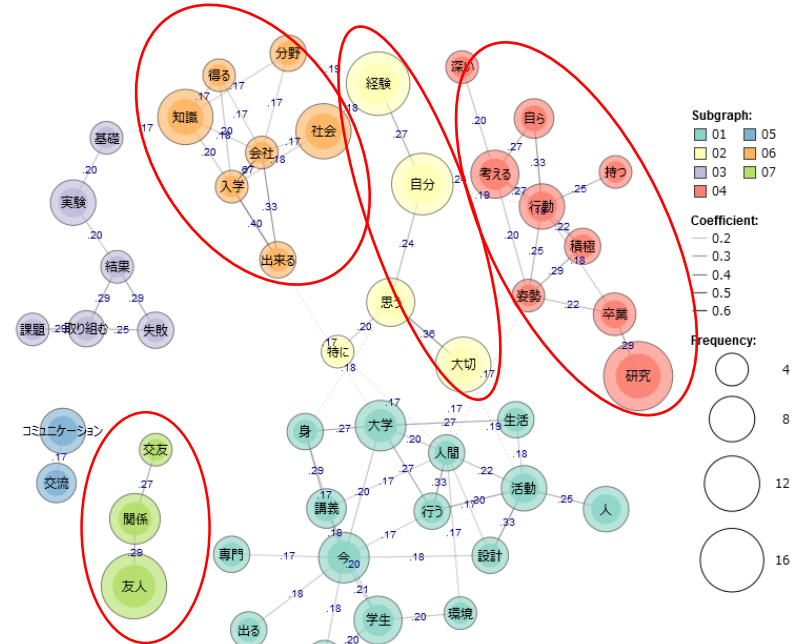
卒後5年の回答の抜粋

自ら判断し行動すること、特に卒業研究ではこの力が培われた

3年生から始める研究は知識、技術、コミュニケーションなど様々な分野で非常に大切な経験だったと感じています。

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

(単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す)



【概説】

「研究」「友人」「経験」「知識」という単語が頻出。

学生時代に特に大切だったと思うもの

- ・ 研究を通じて得られた積極的に学ぶ姿勢や、自分で考え行動する経験
- ・ 友人関係、出会い
- ・ 講義や研究、実験などで得られた専門知識、専門分野以外の幅広い知識

(自由記述の設問)

問13 大学時代にもっと学んでおけば良かったと思うことや、取得しておけば良かったと思う資格などは何ですか。

卒業20年の回答の抜粋

電験3種

品質・統計学に関すること

外国語、経済、経営

授業以外の講座の受講はしておけば良かったと思います。資格講座も受けておけば良かった。電験3種、情報系資格など

語学を学んでおけば良かったと思います。資格はTOEICを取得するべきだったと思います。

語学。1年以上の海外留学。国内外のビジネスについて知識を深めておけば良かった。

加工技術、製造工程電気工事士

純粋数学を専攻したが、就職先では工学的なセンスが重要だった。また、プログラミングを毛嫌いせずにやっておけばよかった。

危険物甲種、電気工事士、消防設備士

無線資格、電気工事士資格

卒業10年の回答の抜粋

2級建築士

準備が足らなかつたとは思わないですが、就職や研究を見据えて履修科目を決めることもできたなと思います。ただ、基本的には勉強の仕方が身につけていれば何をやっても遅いということはないです。

材料力学とCADとプログラム

海外にもっと行けば良かったと感じています。1ヶ月などの短い期間ではなくて、それこそ1年単位で留学してみたかったと感じています。

卒業5年の回答の抜粋

データベースの授業Java、C以外のプログラミング言語SEの現状(1次講、2次講など)

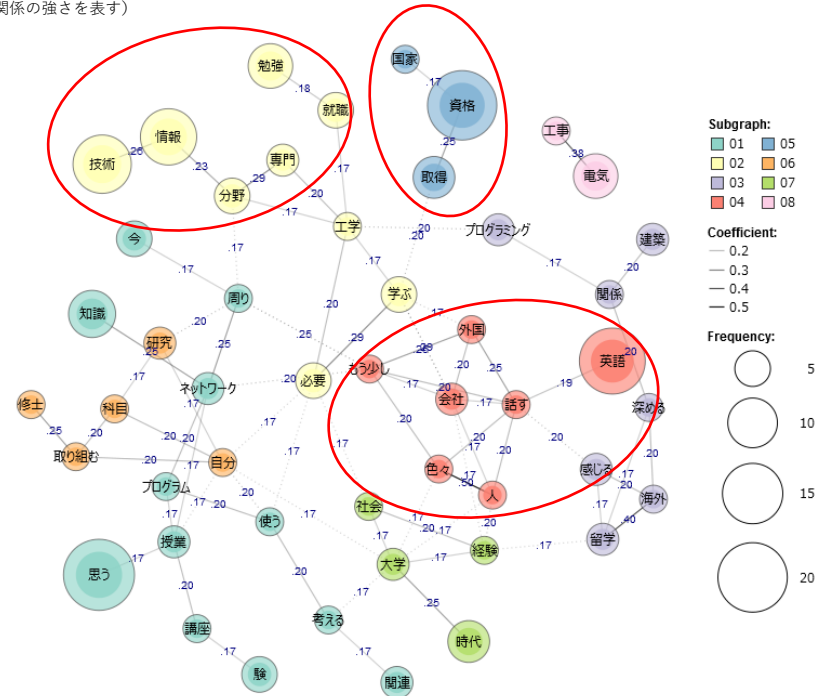
英語の実践(スピーキング)

会社に入ると英語以外の外国語を話す同僚が身近にいることもあるため、中国語やフランス語など第二外国語にもう少し力を入れて学んでおけば良かったと思います。

資格は必要のない業界ですが、語学はある程度学んでおくと将来の選択肢の幅に繋がると思う。また、専門分野以外の知識はより多くあると良い。電気電子工学科卒なので、情報工学寄りや機械工学寄りの知識が時折必要になることがある。

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

(単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す)



【概説】
「資格」「語学」「英語」「技術」「情報」「電機」という単語が頻出。

- 大学時代に学んでおけば良かったもの、取得しておけばよかった資格
- ・電気系・情報系・建築系の専門的な各種資格。
- ・英語を中心とした語学関係。また海外留学の経験や第二外国語の習得。
- ・交友関係やサークル活動、自身の専門以外の授業の受講や勉強。

(自由記述の設問)

問14 あなたが、今後、大学に期待することは何ですか

卒後20年の回答の抜粋

東京電機大学の伝統を引き続き受け継いでほしい。

社会に出たときに生き抜く力講義等も含め、大学を出たあとも学ぶことを継続して行うことができる力をつける

質の高い研究、意欲や向上心の高い卒業生

産官学連携及び実学主義。自分の経験ではあるが社会人入学は学ぶ目的がある為、学ぶ意識があった。

卒業生同士のコネクション

資格の受験資格を満たせるような講義を増やしてほしい。

もっととんがって、ユニークさがあるといいと思います。よりハイレベルな学生が増えて、ベースアップするためにも独自の要素が必要になってくると思います。

①在籍する学生やこれから入学する学生が、電大を卒業してから社会の第一線で活躍できるように、質の高い学問を提供してもらいたい。②学生時代に幅広い知識の習得ができれば、社会に出てから役立つ。専門性に特化することも大事ですが、理工系大学出身として必要な基礎学力を定着させて、多くの優秀な学生を社会に輩出してもらいたい。

卒後10年の回答の抜粋

自分の会社において、ゆくゆくは未来の後輩達を何人も雇用できるような状況にしたいので、これからも優秀な人材を育てて行って欲しいです。

目まぐるしく労働環境が変化していく中なので、その時代に合わせた講義やコースの拡充、引き続き世の中で活躍する人材の輩出を期待いたします。

学生だけでなく、社会人の技術者も何か学べる場であったら嬉しい。もっとオープンな学びの場になってほしい。

卒後5年の回答の抜粋

実験や実習を充実させること。実学尊重の考えのもとに

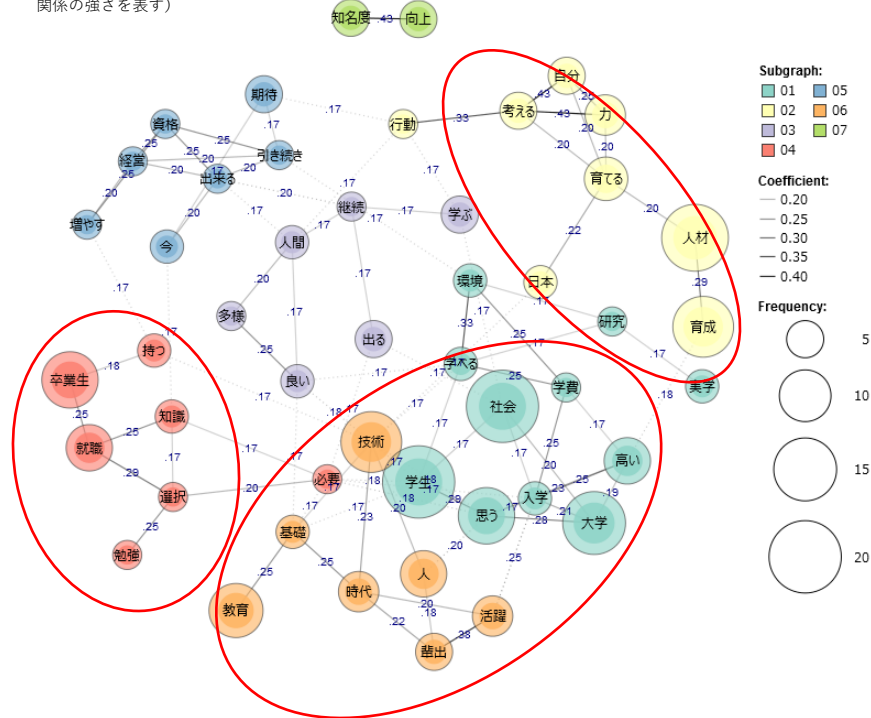
常に新しいことにチャレンジする大学で有り続けて欲しい在学生、卒業生の心のよりどころが存続して欲しい

OGとして電大の魅力を気軽に発信できるような環境作り

多様性です。一つの技術に特化した人間ではなく、複数の技術に精通した方が良い。将来のリスト対象にもなりにくい人材が良い。人手不足の時代なので多様性があると職に困らないと思う

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

(単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す)



【概説】

「社会」「学生」「人材」「育成」「技術」「卒業生」という単語が頻出。

今後、大学に期待すること

- ・社会に出て活躍できる人材、技術者の育成、質の高い研究・教育
- ・時代にあわせた講義・コースの拡充
- ・卒業生同士の交流、社会人の学べる場
- ・理工系基礎学力、多様な幅広い知識

<令和5年度 卒業生（既卒者）アンケート調査についての総括>

卒業生（既卒者）へのアンケートについては、令和3年度より調査項目および調査対象を見直し、webでアンケート調査を実施した。

十分な回答数は得られなかったが、卒業生の現況（勤務状況、海外での仕事経験、転職経験）や、本学に対する満足度、意見等について調査することができた。

今回の調査では、海外での仕事経験がある卒業生の割合は16%、大学時代に学んでおけば良かったことについては、英語・語学・海外留学との意見が多かった。取得しておけば良かったと思う資格については、電気系・情報系・建築系の各種資格であった。また、大学に期待することとして、社会に出て活躍できる人材、質の高い研究・教育、社会人の学ぶ機会の提供、などが挙げられた。本学においては、今後、語学教育、海外留学機会の提供、資格取得のさらなる推進、質の高い研究・教育の検討が求められる。

このように様々な意見がある中、大学に対する総合的な満足度に関する回答においては、89%が本学に対して「満足」と感じており、82%が本学に誇りをもっているなど、高い満足度が示された。

本調査については、今後、回収率を上げるとともに、卒業生アンケート（卒業・修了時に実施）、新入生アンケート等とも連携の上、様々な側面からの分析を実施し、大学運営、教育改善について検討することとしたい。

以 上